

創立40周年を記念した地域貢献

株しなの富士通が飯山市へAEDを寄贈

昨年12月に創立40周年を迎えた株式会社しなの富士通（木島・野坂田）より、節目の年を記念した地域貢



△石田市長に目録を手渡す(株)しなの富士通の長谷川社長。(写真 右)

献にと飯山市へAED（自動体外式除細動器）が寄贈されました。

AEDは心臓が停止した人に電気ショックを与え救命するための機器で、今回は壁掛け用のハードケース、小学生用のパッドなどを含めた一式を11台寄贈していただきました。このAEDは市内すべての小・中学校に1台ずつ配備されます。

12月25日には、同社の長谷川一社長など関係者が市



△今回寄贈していただいたAED

役所を訪問。石田市長に目録が手渡されました。

石田市長は「本当にありがたい。講習などを通じ、万が一の時に活用できるように準備していきたい」とお礼を述べると、長谷川社長は「ずっとお世話になっている飯山に恩返しができ当社としてもうれし」と話していました。

たは5の方がいる世帯

④母子または父子だけの世帯

⑤ ①と④の複合世帯

⑥生活保護世帯

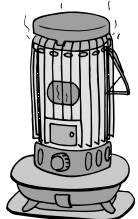
給付額 1世帯5000円

申請期間・申請方法

2月1日から3月10日までに各地区の民生委員まで申請をお願いします。

お問い合わせ 市役所保健福祉課社会福祉係 ☎☎

3111 内線188



空き店舗を活用し障害者作業施設を統合移転

「雁木ぷらざ」が竣工

12月27日、高水福祉会の多機能型障がい者活動支援センター「雁木ぷらざ」の竣工・開所式が行われました。

「雁木ぷらざ」は、市総合福祉センターが北陸新幹線飯山駅周辺整備で移転することに伴い、総合福祉センター内にある「飯山市就労訓練センター（通称・すばる）」と、市役所前にある「飯山市地域生活支援センター（通称・ぶなの里）」の2つの飯山市地域活動支援センター施設と、福祉企業

センター内の「創造館」を統合。上町の空き店舗を改修し移転するものです。また、統合した飯山市地域活動支援センターの運営は、社会福祉法人高水福祉会に委託されます。

竣工・開所式で高水福祉会の宮本衡司理事長は「古くから飯山の人々を守ってきた雁木の『安心・安全』というイメージから名づけられた施設。飯山の中心市街地という好立地を活用し、将来的には地域と融合



し活動できるような施設になるよう取り組みを行っていきたい」とあいさつ。また石田市長は「運営を実績のある高水福祉会にお願いしたが、市としても一緒にやりしつかり支援をしたい」と述べました。

市議会12月定例会から

12月5日に招集された飯山市議会12月定例会は17日の会期で審議が行われ、上程された21議案はすべて可決されました。

平成19年度補正予算案

一般会計の補正予算額は、約9736万円が減額となり、19年度の予算総額は約149億7716万円となりました。このほか特別会計と水道事業会計を合わせると約747万円の減額補正をしています。主な内容は次のとおりです。

▽市営住宅整備事業（816万円）：照丘高校教員宿舎を購入し、市営住宅として整備するための費用

▽学校営繕事業（289万円）：小中学校の改修・修繕工事費

▽飯山市男女共同参画社会づくり条例：男女共同参画社会を実現するために、飯山市と市民や事業者がどのようなにしたら良いか、基本的な考え方や施策を定めた条例。（詳しくは20・21ページをご覧ください）

▽飯山市税条例の一部を改

第4次総合計画後期基本計画を策定しました

市では、平成20年度から24年度までの飯山市の総合的、計画的な行政運営の指針となる重要な計画「飯山市第4次総合計画後期基本計画」を策定しました。

この策定にあたっては、内容について審議を行っていた飯山市基本構想審議会から11月に答申を受け、策定されました。

後期基本計画は今年度

までの前期基本計画の進捗状況などを分析し、左表のとおり重点プロジェクトを掲げ取り組んでいく内容となっています。

後期基本計画の内容については、3月に全戸配布予定の概要版をご覧ください。

お問い合わせ

市役所企画財政課企画調整係 ☎☎3111 内線391

重点プロジェクト		目標（平成24年度）	
市が主体となっており取り組むもの	◎新幹線駅と連動した土地利用の推進	・新幹線駅周辺への企業立地	
	◎新幹線駅開業を見据えた新産業立地、広域観光の推進	・工業団地への誘致…5事業所 ・新規開業…5事業所 ・観光客数 144万人→150万人(5%増)	
	◎農産物の高付加価値化	・農産物直売所1施設、加工所1施設整備	
	◎移住定住の推進	・定住人口 25,000人	
市民が主体となっており取り組むもの	◎中高年の健康増進と介護予防	・要介護認定率 15.8%→18%（介護予防しない場合の推計は20%）	
	◎ごみ減量の推進	・可燃ごみ処理量を10%削減	
	◎自主防災会の設置と防災意識の高揚	・自主防災会の設置 41集落→全集落	

千曲川護岸工事で伐採の木を活用 城山公園に木のベンチ

国土交通省千曲川河川事務所により、昨年から千曲川の災害復旧護岸工事が行われていますが、その施工業者である株式会社鹿熊組より木のベンチを6脚、寄贈していただきました。

これは工事にあたり伐採した雑木を材料に同社が製作したもので、市では雪が消えた春に城山公園へ設置する予定です。

市民と市が協働で取り組むフラワーロード事業 「花の観光地づくり大賞」努力賞を受賞

昭和63年の国道17号バイパス開通時の記念事業として始まって以来、毎年市民の皆さんと市が協働で管理を行ってきたフラワーロード事業。現在、西回り線沿いにも植栽され、ドライバ―の目を楽ませています。

このフラワーロードの取り組みが、このたび日本観光協会が行う「平成19年度花の観光地づくり大賞」で努力賞・花の心賞を受賞しました。

花の観光地づくり大賞は、花の景観などを整備し、花の観光地づくり事業を推進している団体等を表彰するもので、今回の受賞の記念として飯山市に木製フラワーロードが贈呈されました。